

## 問題【理科】

特別編1：どうすれば理科を好きになれるのでしょうか。

1年間、岐阜新聞真学塾の理科を担当させていただきました。ありがとうございます。

今回は私がどこで理科という科目に引かれ、のめり込み、ケイセツ岐南校で生徒を指導しているのかお話ししたいと思います。

## 理科を好きになるには？

今からさかのぼること33年前。当時は高校2年生でした。化学を担当しているF先生に私の人生を大きく変えていただきました。その時のお話です。

私は化学という科目が苦手でした。mol（モル）の計算の単元でさっぱりピーマン（さっぱり分らなくなる）になり、化学の時間にはいつも数学を勉強していました。これはいけませんねえ。ちなみに授業と違う科目を勉強するいけないことを内職といいます。またF先生は思っていることをズバツとしかもいやらしい言い方で言うので、大変クラスのみんなから嫌われていました。私は普通でした…。しかしある日F先生のことが大嫌いになる出来事が起こりました。

いつものように内職をしていると、F先生が私を指名しました。

F先生：「松田、聞いとるか？」

私：「はい、聞いていますよ」

F先生：「いや、聞いていない。じゃあ説明してみよう」

私はそのときかすかに聞こえた重要語句を0.1秒で教科書から見つけ出し、読み上げました。

F先生：「違う、全然違う。分かっていない。聞いていない」

私：「え、教科書のここにちゃんと書いてありますよ（大声）」

友達たちはニヤニヤしています。私もちょっと調子に乗っちゃいました。

F先生は「…。もういいわ、座れ」と寂しそうに言い、その出来事から私はF先生から一切指名されなくなりました。F先生が大嫌いになりました。

この出来事を冷静に考えると、今後私が取るべき道は二つしかありません。このままふてくされて化学を捨てて受験科目から外すか、それともF先生をギャフンと言わせるか。悩み、たどり着いた答えはギャフンと言わせるです。二 （最終回に続く）